

農業環境の改善と自治会活動の向上を目指して

～～～地域の融和と親睦～～～

(組織名) したで地域資源保全会 (市町村) 鴻巣市

1 地域の資源

田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
18.23ha	3.80ha	4.5km	- km	1.2km	- 箇所	0.8km

2 活動組織の構成員

- 構成員の人数 60人(農業者11人・非農業者49人)
- 主な構成団体 下手自治会
下手農家組合

3 地域の様子と取組内容

したで地域資源保全会の活動区域は鴻巣市の東部に位置し、加須市(旧騎西町)に隣接する笠原たんぼといわれる広大な水田地帯の一部です。

当地区は、昭和30年代に土水路からコンクリートフルーム水路に用水路が改修され50年以上が経過し、老朽化や施設の破損、また、一部かんがい不良地域があるなど用水調整の支障となっています。そこで、全面的な農家の直営作業によるコンクリート水路の布設替え工事を実施したことで用水環境の改善が図られ、目に見える効果が上がっています。

環境美化活動として、花のまち鴻巣をイメージし、非農家の協力を頂きパンジーやコスモスなどを植栽し、一年を通して花のある集落の環境造りを心がけています。

用排水路の維持管理では、高齢化・後継者不足の影響がはっきりと現れていることから、土地持ち非農家の協力と維持管理の機械化の促進を図っています。

また、農地中間管理事業を実施することにより、農用地の効率化が進んでいます。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
・用排水路の診断	診断・点検に基づく活動計	用排水路の草刈、泥さらい
・緊急用揚水施設の試運転	画の策定	農道・用排水路の補修
・耕作放棄地の確認		ゴミ拾い等の清掃活動



農家直営作業によるU字溝の更新
測量・計画・資材調達・既設撤去・新設



雑草刈り払い(三回刈り払いの内の一回は土地持ち非農家の協力)



集落内の泥上げ作業(全戸対象)



花の町鴻巣 市の花パンジーの植栽

5 取組の効果及び今後の展望

自治会活動や交流の機械が減少している近年、植栽活動や定期的な草取りなどの美化活動を行う事により交流の機会が増え、自治会の活性化がはかられています。

農業者の高齢化に伴う農業資源の維持管理や地域活動の衰退にならないよう、したで地域資源保全会の活動を充実させて行きます。

平成29年度から実施している農地中間管理事業を継続し、今後さらに深刻になると予想される担い手不足や農家の高齢化等に対応していきたいと考えています。

地域で守る、ふるさとの継承

(組織名) 大谷地区ふるさとづくり協議会 (市町村) 越生町

1 地域の資源

田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
22.91ha	0.99ha	3.5km	— km	— km	4箇所	— km

2 活動組織の構成員

- 構成員の人数 71人(農業者47人・非農業者24人)
- 主な構成団体 大谷地区ふるさとづくり協議会、地域づくり大谷部会

3 地域の様子と取組内容

本地域は、越生町の北東部に位置しており、ため池を水源とした水稻の生産が中心に行われています。また、水田の利用集積が進められ、飼料用作物の作付けもおこなわれています。

しかし、地域内の大部分が小規模農家であり、担い手の高齢化や後継者不足により、農地や水路の維持管理の負担は増加しています。このため、農業者と地域住民との協働活動により、農業用施設等の保全管理を進めています。

毎年4月29日には「菜の花まつり」を開催しており、多くのハイカーが訪れ、一面に咲き誇る菜の花を眺めながら休憩できる場を提供しおもてなしをしています。この会場づくりのために、約2.2haの農地の草刈りや耕耘、菜の花の播種などを行い、一年をとおして資源向上対策に取り組んでいます。

また、遊休農地・ため池周辺・道路脇の草刈りを行うとともに、小学生と一緒にゴミ拾い(クリーンハイク)を行い、環境美化と農地保全の活動をしています。定期的に水路・ため池・堰等施設の点検・補修を実施し、大雨予報が出た場合にはため池の貯留量を調整することにより防災減災に努め、地域の農業を地域住民が一体となり守っています。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
・点検及び機能診断 (農地、水路、ため池)	・年度活動計画の策定	・畦畔、農用地法面、水路の草刈り ・畦畔、農用地法面、水路の補修 ・遊休農地発生防止のための保全管理 ・地域交流イベントの開催 ・景観形成活動



草刈り作業



水路の泥さらい



クリーンハイク



5 取組の効果及び今後の展望等

当地区は、農業者の後継者不足や高齢化により遊休農地が増加傾向にあるが、本協議会で農地法面の草刈りや水路の点検等の保全活動を行い、健全な農地の保全を図られています。

今後も、引き続き、農家と地域住民が一体となって優良農地や農村環境の保全に努めていきます。

また、農家と地域住民が、菜の花まつりなどのイベント等を通じて地域の魅力を発信するとともに、他地区の優良事例を研究し、地域活性化につなげていきたいと考えています。

みんなで守る美しい農村環境

(組織名) 中部環境保全会 (市町村) 嵐山町

1 地域の資源

田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
26.0ha	— ha	— km	8.8km	10.7km	22箇所	7.4km

2 活動組織の構成員

- 構成員の人数 632人（農業者206人・非農業者426人）
- 主な構成団体 嵐山中部土地改良区
吉田一区自治会、越畑一区自治会、越畑二区自治会
広野一区自治会、広野二区自治会、勝田自治会、
杉山自治会、太郎丸自治会

3 地域の様子と取組内容

当地域は、嵐山町の中央部に位置し、吉田、越畑、広野、勝田、杉山、太郎丸で構成される地域であります。県営ほ場整備事業により整備され約30年経過し、各農業施設の老朽化が懸念されています。また、農業者の高齢化や後継者の不足が進み農地や農業用施設の維持管理が困難な状況になっています。そのため平成19年度より農地・水・環境保全向上対策に取り組み、平成26年から引き継ぎ多面的機能支援事業により保全活動を実施し、美しい農村環境を維持しています。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
施設の点検・機能診断	年度活動計画の策定	施設の草刈り・清掃・維持管理 景観形成のための施設への植栽



ため池堤体の草刈り



水路の泥上げ



清掃活動



植栽活動

5 取組の効果及び今後の展望等

水路・ため池等の草刈り、泥上げ、施設の点検・補修や環境向上活動としてゴミ拾いや植栽活動を通じて「自分たちの地域は自分で守る」という意識が根付き、遊休農地発生抑制につながりました。また、植栽活動をイベント化することにより効果が広く知られ共同活動以外でも水路法面等に植栽が行われ施設の維持管理に役立っております。これからも維持管理活動・地区内の遊休農地を把握し、農村地域の環境保全の活動を継続してまいります。

地区内の営農は、農業者の高齢化や後継者の不足がすすんでおりますが、認定農業者や営農法人を中心とした担い手に農地の利用集積することで農地の管理を続けていきたいと考えております。

地域で行う花苗による景観形成活動

(組織名) 上飯田環境保全活動委員会 (市町村) 小鹿野町

1 地域の資源

田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
3.53ha	3.65ha	2km	—km	—km	—箇所	3km

2 活動組織の構成員

- 構成員の人数 51人(農業者41人・非農業者10人)
- 主な構成団体 本屋敷水利組合、三田川3区、上飯田青真会、上飯田明和会
三田川老人クラブ上飯田部会等

3 地域の様子と取組内容

本地区は、小鹿野町の中央部に位置する中山間地域であり、住民の高齢化や人口減少に伴い、農地・農業用施設の維持管理の低下が進行しつつあります。

農地維持活動・共同活動として、地域住民の共同作業により、地域を西から東に横断して流れる小鹿野用水本線を始めとする用水路のゴミ除去と泥上げ作業、用水路や農道周り等の地域内各所の草刈り作業を実施しています。また、農村環境保全活動として、花苗による景観形成活動を展開しています。

施設の長寿命化のための活動にも取り組んでおり、水路の老朽化部分の補修を計画的に実施しています。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
施設の点検及び機能診断	点検結果、機能診断結果を踏まえて活動計画を策定	施設の草刈り、水路、側溝の泥上げ、地域環境の保全として景観形成活動



水路清掃



草刈り



総会



花苗配布

5 取組の効果及び今後の展望等

自治会（三田川3区）、女性会（上飯田明和会）、青年部（上飯田青真会）、老人クラブ（三田川老人クラブ上飯田部会）等と連携して活動を実施することにより、非農家の地域住民も活動全般に参加しています。

農村環境保全活動で使用している花苗は、就労継続支援作業所から購入するなど、障害者福祉にも配慮しています。施設の長寿命化のための活動については、土木工事に精通した兼業農家を中心に、状態確認、計画立案、着実な施工を行っており、他の活動組織の模範となっています。

非農家の住民の活動参加により、地域住民一人一人の農村環境に対する意識向上につながっています。また、農村環境保全活動で実施している花の植栽活動は、高齢者の生きがい活動にもなっています。

今後も共同活動において、地域用水としても利用する農業用水路の美化に努め、支線用水路の老朽化部分の補修については、継続して実施したいと思います。

地域が担う農村の環境保全活動

(組織名) 新里農村環境保全協議会 (市町村) 神川町

1 地域の資源

田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
47.4ha	— ha	— km	9.5km	6.5km	2箇所	7.9km

2 活動組織の構成員

○構成員の人数 191人(農業者171人・非農業者20人)

○主な構成団体 新里パイプライン維持管理組合、自治会、老人クラブ

3 地域の様子と取組内容

本地域は、神川町の新里地内に位置する水田地域です。平成8年にパイプラインの整備が完了して、水管理の省力化が図られた米作が盛んな地域となっています。

取組内容としては農業者及び地域住民によって、ため池周辺の草刈り及び排水路の維持管理を実施しています。こうした活動を継続的に実施しており、地域で農村の環境保全活動に取り組んでいます。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
施設の点検・機能診断	年度活動計画の策定	施設の草刈り・清掃・維持管理



農道の草刈り



ため池周辺の草刈り



施設の点検



総会

5 取組の効果及び今後の展望等

農業者及び地域住民が、ため池周辺の草刈り及び排水路の浚渫等の維持管理活動を実施しています。また、施設を点検して軽微な補修が必要な箇所があれば、補修を行い施設の適切な管理を実施しています。

こうした維持管理活動が地域内で定着しており、農業者及び地域住民が農村環境の維持と向上を継続して取り組める効果がありました。

今後は、活動を通じて地域の交流や農村環境の保全に努めるとともに、農地中間管理事業を活用して、農地の集積に向けた取り組みを検討していきたいと思ひます。

活動を通じた地域コミュニティの強化

(組織名) 玉井地区活動組織 (市町村) 熊谷市

1 地域の資源

田	畑地	用水路	パイプライン	ため池	農道
42ha	5ha	14.8km	— km	— 箇所	9.0km

2 活動組織の構成員

- 構成員の人数 205人（農業者185人・非農業者20人）
- 主な構成団体 玉井地区自治会、熊谷中央土地改良区、JAくまがや玉井女性部、玉井麦バラ出荷組合、玉井営農組合、玉声会

3 地域の様子と取組内容

当地区は熊谷市の西部に位置し、国道17号と国道17号バイパスに囲まれた水田を主とした農業振興地域です。平成21年度から平成29年度まで県営ほ場整備事業を実施していました。

農業者の高齢化に伴い、農業用施設等の適切な農地維持が困難となってきたことから、本事業でそれらの適切な管理と地域コミュニティの強化を目的として取組を開始しました。

農業用施設（農用地、水路、農道）の草刈り、泥上げ等の基礎的な活動を重点に行っており、点検・機能診断に基づき、施設の補修等、細やかな保安全管理を行っています。

また、地域の清掃活動や景観形成のためのコスモスの植栽も行っています。コスモスの播種や肥培管理には地域の非農業者も参加しています。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
施設の点検・機能診断	年度活動計画の策定	草刈り、泥上げ 農用地等を活用した景観形成活動、施設等の定期的な巡回点検・清掃



用水路法面の草刈り



水路の泥上げ



地域の清掃活動



満開のコスモス

5 取組の効果及び今後の展望等

県営ほ場整備事業を実施した地区で本事業に取り組み、農業用施設の保全管理を地域ぐるみで行うことによって、担い手農家の負担軽減となり、利用集積が図られています。

農村環境保全活動で実施しているコスモスの植栽活動に関しては、コスモスの播種、肥培管理等に地域の非農業者も参加しており、地域のコミュニティ強化に寄与しています。この活動で植えたコスモス畑は地元でも評判になっています。

今後も活動を継続し、農業用施設の保全はもちろんのこと、美しい景観を誇る農村環境づくりを目指します。

ホタルの復活を目指して

(組織名) 蛍すむ発戸の環境守る会 (市町村) 羽生市

1 地域の資源

田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
43.5ha	— ha	4.8km	— km	4.6km	— 箇所	14.1km

2 活動組織の構成員

- 構成員の人数 199人 (農業者93人・非農業者106人)
- 主な構成団体 ほっと蛍の会 花いっぱいホットクラブ 発戸子供育成会
発戸老人 古代米研究会 農事組合ハイフラワー 発戸農家組合
発戸自治会 発戸土地改良組合、発戸クラブ

3 地域の様子と取組内容

当地区は羽生市の北部、利根川の右岸に位置する水田農業地帯です。

特色ある活動として、ほっと蛍の会が中心となり、放流を通じた在来生物の育成として蛍の保護と、隣接する休耕田を活用し赤・黒・緑等の22種類の古代米の栽培に取り組んでいます。6月下旬から7月上旬にかけて蛍の鑑賞会を開き、地元の井泉小学校の環境教育に活用してもらうとともに、市内外から訪れる来場者には、蛍を通じた環境保護の大切さについて、紙芝居等を交えて伝えています。

また、地区の幹線道路沿いに定期的に花を植え、景観形成や環境美化運動に取り組むとともに、ほ場整備完了区域の道路のり面にはセンチピードグラスを植え、維持管理の軽減に役立てています。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
<ul style="list-style-type: none">・農用地・水路・農道の点検・異常気象時の点検	<ul style="list-style-type: none">・活動計画の策定・農村環境保全活動	<ul style="list-style-type: none">・水路の草刈り、泥上げ・農道のり面の草刈り・農道のり面の管理 (センチピードグラスの植栽)・通学路への植栽活動・蛍祭り (蛍の生育、放流)・子供会を対象とした、田植え体験、芋ほり体験



草刈り



水路の泥上げ



沿道への植栽活動



ホタルの里見学会

5 取組の効果及び今後の展望等

発戸地区では、県営ほ場整備事業を活用した、ほ場整備を契機に活動範囲を拡大しました。農地、農道の見回り、清掃活動のほか、農道のり面の維持管理や景観形成に配慮し、センチピードグラスを導入し、植付けは2年目になりますが耕作者へ協力を呼びかけ年々植栽範囲を拡大しています。このような活動を通して地域を守り担い手への優良農地の集積を進めています。

当会では、今後も蛍の育成保護活動、田植え体験等の自然活動に力を入れ、子供たちに地域の環境保全活動の重要性を伝えるとともに、地域ぐるみの活動である道路・水路の維持管理活動や道路沿いの植栽活動を継続して行い、良好な農村環境の保全、地域の活性化を図りたいと考えています。

「共生」小平パワーで守る農村環境

(組織名) 小平農地環境保全組合 (市町村) 春日部市

1 地域の資源

田	畑地	用水路	パイプライン	ため池	農道
48.63ha	— ha	13km	— km	— 箇所	12km

2 活動組織の構成員

○構成員の人数 45人(農業者40人・非農業者5人)

○主な構成団体 小平白寿会、小平子供会、小平自主防災会、小平協力会

3 地域の様子と取組内容

小平農地環境保全組合の活動区域は、春日部市東部(旧庄和町)に位置した江戸川沿いの田園地帯です。

江戸川堤防から西を望み、眼下に広がる田んぼは、朝日や夕日に照らされることにより、美しい田園風景を作り出します。

こうした田園風景を維持するために、草刈り、堀浚い等をおこない、農村環境の保全に努めています。

また、施設の点検や、構成員のキャリアを生かした水路や農道の補修、更新作業をおこない、維持管理を実施しています。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
農用地・水路・農道の点検	年度活動計画の策定 農村環境保全の計画策定	水路泥上げ・草刈り・掃除 異常気象時の対応 地域交流会、検討会 農業用施設の修繕、更新



草刈り



泥上げ



水路更新



ゴミ拾い

5 取組の効果及び今後の展望等

本組織は、平成19年度から活動を開始し、共同活動による草刈等をはじめ、良好な農村環境の保全がされています。

活動開始前と比較すると、草刈り、泥上げ等の共同活動の参加者や活動回数は実績が大きく向上しています。

また、本交付金による共同活動が農業者、非農業者の交流の場となり、地元住民同士の結びつきも強くなっています。

今後は、本交付金のさらなる充実化と農地中間管理事業の活用およびほ場整備事業の検討を進め、農地利用集積を図り、農業者の高齢化、後継者不足の問題解消等に努めていきたいです。